

とよがわ流域県民セミナー

第 6 回講座 開催計画(案)

担当委員：小島、井上、蔵治、原田

テーマ：とよがわ流域の水利用計画

「豊川流域の水利用～水を通じて、流域の未来像を考える」

設楽ダム計画による新規水資源開発の容量は約 1,300 万立方メートルで、水道用水が $0.179\text{m}^3/\text{s}$ 、農業用水が $0.339\text{m}^3/\text{s}$ となっています。

セミナーの第 1 部では、上記数字の根拠について、豊川水系における現在の水需要および水供給がどのようなようであり、将来どのようなようになると考えているのかを踏まえた、県および国の見解について解説していただき、豊川水系の水需要および水供給について検討することを目的としています。

それを受けて、第 2 部では、愛知県および東海農政局と異なる視点からの水需要および水供給についての意見を解説していただくことで、愛知県、東海農政局による解説の位置づけを、より広い観点から検討することを目的とします。

日 時： 2013 年 8 月 3 日(土)

場 所： 愛知大学豊橋キャンパス「記念会館」小講堂

時 間： 第 1 部：10:00～12:00、第 2 部：13:00～16:30

スケジュール：

[司会進行 原田さとみ]

第一部

- 10:00～10:10 開会挨拶 戸田敏行
- 10:10～10:40 上水道と工業での水需要 (愛知県)
- 10:40～11:10 農業での水利用 (東海農政局)
- 11:10～11:30 休憩・質問票記入
- 11:30～12:00 質疑応答

第二部

- 13:00～13:10 第一部の紹介と趣旨説明 戸田敏行
- 13:10～14:10 富樫幸一氏の講演
- 14:10～14:30 蔵治光一郎氏の講演
- 14:30～15:00 休憩・質問票記入
- 15:00～16:30 質疑応答

サイドイベント (12:00～13:00・14:30～15:00)

「愛知県三河山間地域の食材を使ったピザや猪肉の奥三河バーガー、炭火焼弁当、そして有機野菜のベジタブル弁当などの販売を行います。」